

第296号・2025年7月22日（火）
発行・東北大学職員組合書記局
〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1
内線 片平（91）5029
022-227-8888 (TEL) 022-227-0671 (FAX)
<https://tohokudai-kumiai.org/>
編集・コア編集委員会



*** 軍事目的のための科学研究は行わない！**
*** 国民が主人公。安心して暮らせる社会を！**

定期大会（7／26）

組合員拡大が必須の課題

大学をめぐる情勢が大きく変わっている状況の中、大学の民主的運営、雇用の維持、働きやすい職場作りをめざします！

2024年12月24日

を意味します。学術会

東北大学の国際卓越研究大学研究等体制強化計画が認可され、国際

卓越研究大学としての助成が開始されました。

2025年度の助成金は、154億円という巨額なものです。学内

では、その過大な計画の遂行と破格の数値目標の達成のため、すでに教職員の過重労働が生じ始めています。

2025年6月11日に日本学術会議法が可決成立しました。学術

会議に対して政府の介入を可能とするものであり、学術会議の解体

を意味します。学術会議の「軍事目的のための科学研究を行わない」という方針が反故にされ、各大学で軍事研究が解禁される可能性が高くなってきました。

東北大学でも、防衛装備庁安全保障技術研究推進制度へ申請が行われるかどうか、極めて重要な案件となりました。

本議案書では、無期転換問題へのとりくみ、学内民主主義の維持、組織拡大について提起

します。支部における検討と積極的な議論をお願いするとともに、

学内世論を引き起こし要求実現にとりくみ、さらには組合員拡大につなげていく必要があります。

一方、組合組織につ

いては、組織率減少が継続しています。広く勧誘活動を行っている

ところですが、正職員の加入が少なく、支部

や個人からの借入やカンパによって予算を維持している状態です。

組合員拡大と収入確保が、私たちの必須課題となります。

2025年期も、現場の要求に基づく雇用

安定、待遇改善、要求実現、働きやすい職場

作りのためにとりくみます。大会における積極的な議論をよろしく

お願いいたします。

東北労金をご利用ください

※コンビニエンスストア等のATM引出し手数料

実質〇円

※住宅ローンや車のローンなどの各種ローン

組合員は金利引下げ！

教職員共済

教職員のための制度です

教職員賠償	⇒総合共済
病気・ケガ	⇒トリプルガード
ケガ・賠償	⇒レスキュースリー
災害	⇒火災共済
リタイア後	⇒年金共済
死亡・重度障害	⇒新・終身共済
自動車事故	⇒自動車共済
・・・	自動車共済は
『事故あり等級表（二重の負担増）』なし	

日本学術会議法問題 市内5大学で共同声明発表

政府は2025年3月7日、現在の日本学術会議を廃止し、特殊法人「日本学術会議」を新設する日本学術会議法案を閣議決定し、法案を議会に提出しました。そして6月11日に可決成立しました。

日本学術会議は、内閣総理大臣の所轄の下、政府から独立して職務を行う「特別の機関」として1949年に設立されました。今回の日本学術会議法は、日本学術会議を国から独立した法人とするものです。法案では、日本学術会議を国から独立した法人とする一方、必要な財政支援を行うつつ、首相任命の監事を置く等の仕組みの改編が実施されます。学術会議に対して政府の介入を可能とするものであり、学術会議の解体を意味します。

今回の改正の狙いの一つは、学術会議の軍事的安全保障研究に関する声明(2017年)

「軍事目的のための科学研究を行わない」を、特殊法人化によって白紙にさせてしまうことです。防衛装備庁の安全保障技術研究推進制度への申請は、いくつかの大学に抑えられています。一気にくの大学から行われる可能性があります。軍事研究解禁が差し迫っているといえます。

東北大学職員組合は、仙台市内大学の4つの組合(東北工業大学教職員組合・東北学院大学教職員組合・宮城大学教職員組合・宮城教育大学職員組合)とともに、「科学・学問は、時の権力や短期的な経済価値を超えた人類普遍の平和と福祉のために営まれるべきであります。そうした科学をささえる学術界の日本における代表が日本学術会議です。政府には、日本学術会議の独立性を維持し、法人化を柱とする日本学術会議法案の見直しを

望みます。」として、25年6月6日)。同日に記者会見を行い、翌日の河北新報、朝日新聞に掲載されました。法案は通ってしまいが期待されます。

全大教第58回定期大会

学術会議解体法や

ハラスメント問題を議論

7月12日に、オンラインで開催されました。代議員数78名のうち出席が55名でした。

議案(明石工業高専

7月12日に、オンラインで開催されました。代議員数78名のうち出席が55名でした。

議案(明石工業高専

教職員組合の加入、大阪府大学教職員組合脱退の承認、2025年度納入人員、2024年度決算、2025年度運動方針、2025年度予算、定時役員選挙、選挙管理委員の選出、公認会計士の委嘱)は、全て承認されました。

その他、学術会議解体法案問題の総括や、学内ハラスメントの問題などを議論

また、学術会議解体法案問題の総括や、学内ハラスメントの問題などを議論

また、学術会議解体法案問題の総括や、学内ハラスメントの問題などを議論

(執行委員長

片山知史



明石工業高専教職員組合の加入という嬉しいニュースも

第64回宮城県母親大会 in 青葉

県内各地から800人が参加

第64回宮城県母親大会が6月15日、仙台市青葉区のフォレスト仙台で開催され、県内各地から約800人が参加し、大会のサブタイトルである「だれもが自分らしくあなたらしく生きられる平和な社会を」について考え交流する場となりました。

午前11の分科会からスタートし、私は「ジェンダー平等があたりまえの社会に」という分科会に参加。ジェンダー問題の研究で知られている宮城学院女子大名誉教授の天童睦子先生と、にじいろC ANVAS代表の小浜耕治氏が助言・話題提供者となり満席の参加者と共に「ジェンダー平等があたりまえの社会に」についての学習と意見交換が活発に行われました。①無意識の偏見をなくそう②「私」から始まり、対話し、つながろう③「自分らしく」生きられる社会をつくろう④女性の声を政治に活かした政策を実現しよう⑤性の多様性を大切に、人権が保障される社会をつくろう、という申し送り事項を掲げる事ができました。



満員の全体会会場

午後からは全体会で新劇の名門、劇団俳優座で社長を務める有馬理恵さんによる民族差別の不条理などを描く水上勉原作の戯曲「釈

に参加しました。そこで語られたのは、介護の現場が今どれほど深刻な危機に直面しているかという現実でした。

訪問介護事業所の倒産が全国で過去最多を記録し、職員の賃金は上がらず、人手不足が深刻化しています。それでも国は介護報酬の引き下げを続け、自治体による支援も追いついていません。介護の現場は、もう限界に近いのではないのでしょうか。

えない支援が重要であり、それが報酬や評価に反映されていないという指摘も印象的でした。

制度の根幹である要介護認定も、施設中心のデータをもとに機械的に判定されており、在宅で介護する家族やケアマネジャーの声が反映されにくい現状があります。介護を「効率化」や「規制緩和」で乗り切るという発想では、現場の悲鳴に応えることはできません。

(書記局)

小野寺智雄

分科会では、訪問介護や通所介護を市町村の「総合事業」に移行させる動きへの懸念も共有されました。ボランティアや地域の力を生かす発想は一見魅力的ですが、安定した人材や専門的支援がなければ、介護の質の低下や家族への過重負担を招きかねません。とくに認知症の高齢者に対しては、見守りや心理的ケアといった目に見

介護保険制度の

崩壊を防ぐために

介護保険問題分科会

第71回日本母親大会
来年、30年ぶりに
仙台市で開催されます
2026年9月12日(土) 13日(日)
実行委員募集中!



青木さんの話に聞き入りました

錦町公園に550名が集いました。ジャーナリストの青木理さんが「自由と平和と人権と戦後80年、非戦の憲法を今、改めて私たちの手に」と題して話されました。

**守ろう！いのちとくらし
減らせ軍事費！
壊すな憲法！
変えよう政治！**

6・7宮城県民大集会

編集委員のちよつとそこまで

- リレートークでは
- ① 私たちが声をあげれば医療崩壊は止められる
 - ② どうなる どうする 日本の食料と農業
 - ③ 今こそ消費税減税を！インボイス廃止を！
 - ④ いつまで待たせる？ 選択的夫婦別性
 - ⑤ 信じられる未来へ！ 政治を変えよう！今、宮城から
- と、5名の方から発言がありました。
- 立憲民主党の石垣のりこさん、日本共産党のいわぶち友さん、二人の国会議員のお話の後、集会アピールを全員で採択しました。
- 集会終了後は、「軍事で平和は守れない」「学問の自由を守れ」「学術会議を壊すな」「物価を下げて給料上げる」などと訴え、商店街をデモ行進しました。



合流集会の参加者 錦町公園で

5月6日に礼文島を出発した国民平和行進が6月15日に宮城入りし、気仙沼市と栗原市をスタートしました。19日、錦町公園で合流集会が行われました。

**2025年原水爆禁止
国民平和行進in宮城**

7月16日、宮城県の最低賃金審議会が行われる会場で「最低賃金を1500円に」の

**最低賃金を
1,500円に**

礼文島からの通し参加者の元氣な姿に励まされました。



礼文島から参加している通し参加者（左）



「いますぐ1500円」の横断幕を掲げて（4月・川内）

フラカードを掲げて集会が行われました。

宮城県の最低賃金は973円。この金額でどうやって生活しろというのでしょうか。

二年前に審議会を傍聴したことがあります。

経営者代表は、中小零細企業に賃上げは厳しいと述べていました。

自身は大企業の管理職です。どうしてみんなで底上げできるようにと、中小企業への支援を政府に訴えないのでしょうか。集会でも、経営者ももつと声を上げるべきだとの訴えがありました。

前日には、恒例の川内キャンパス附近での宣伝行動を行いました。

ある学生が「アルバイトで最低賃金で働いている。賃上げは必要ですよね」と声をかけてくれました。

日程表

* 8月15日（金）

8・15ふたたび戦争をくり返さない集い

編集後記

自公政権が過半数を維持できるかどうか最大の焦点となった参議院選挙が終了しました。結果、裏金問題や企業献金問題に決着をつけることなく、物価高騰にも無策で、国民でなく消費税を守ると明言した自公政権に厳しい審判が下されました。

衆参とも少数になったのは1955年の自民党の結党以来初めてのことでそうです。私たちが安心して暮らすことのできる社会に少しでも近づくことを願います。

（編 M）